

【新潟市環境政策課】

佐潟希少植物調査及び自然生態観察園の取組みについて

1 佐潟希少植物調査

(1) 実施方法

昨年度に引き続き、公益財団法人新潟県都市緑花センターの久原泰雅氏に依頼し、佐潟及びその周辺で確認できる希少植物の生育状況を調査する。

(2) 結果報告

令和2年3月に開催予定である、第30回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会で調査結果を報告し、協議会で情報を共有する。

2 自然生態観察園の取組み

(1) 実施概要

佐潟公園内の自然生態観察園にある池の2ヶ所（下記の図参照）を活用し、豊かな生態系を創出するとともに、希少動植物などが生息・生育できる環境の復元に平成29年度から取り組んでおり、本年度も引き続き実施する。

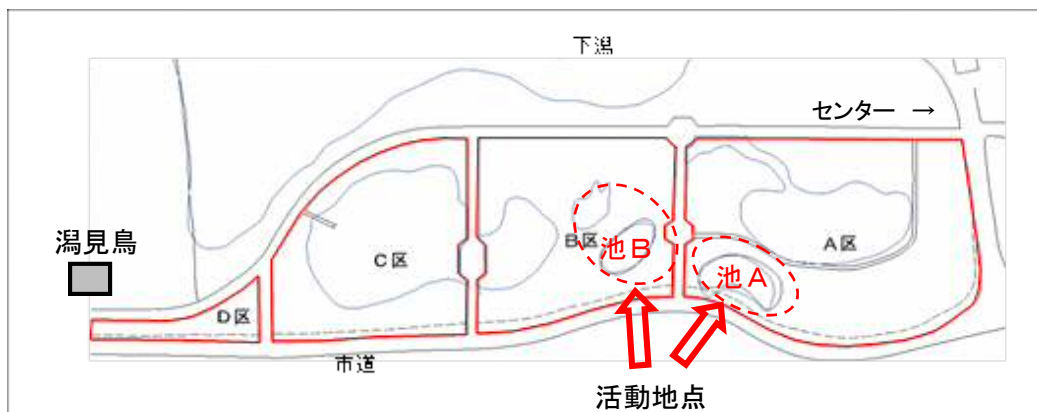


図. 自然生態観察園の活動場所

(2) 平成30年度～現在までの主な活動結果

○潟普請事業との連携

・9月に開催した秋の潟普請と連携し、池のドロあげ等を行った。

○希少植物の生育状況調査

・移植した希少植物等の生育状況を調べ第28回の協議会で報告を行った。

○池周辺のヨシの刈り取り

・池の活用を図るため、年に数回、池周辺で成長したヨシの刈り取りを行った。

○水質調査の実施

- ・平成30年6月から水質調査を継続して行い、状況を把握した。(別紙参照)
- ・平成30年6月、8月、10月、平成31年2月、6月の5回実施
- ・水質調査の項目：全9項目
pH、溶存酸素量、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量(COD)、
溶解性化学的酸素要求量、懸濁物質、クロロフィル a、全窒素、全リン
- ・調査地点：池A、池B（2地点）
- ・調査協力：新潟市衛生環境研究所

○新潟大学Eホームの活動との連携

- ・令和元年6月に池のドロあげや外来種の捕獲作業を実施した。

(3) 今年度の活動内容(案)

○潟普請事業との連携

- ・秋の潟普請と連携しながら池内の泥上げ、外来種駆除などを実施する。

○希少植物の生育状況調査

- ・昨年度移植した希少植物等の生育状況を調べるとともに、必要に応じて今年度も移植を継続する。

○水質調査の実施

- ・年4回の調査を実施。6月に引き続き8月、10月、2月に実施する。